

ハウス食品グループ

2019年3月期 事業概要のご報告

特集
FEATURE

～日本の家庭から世界の家庭の幸せに役立つ～

海外事業のご紹介

>>> P5-6



クミン

カレーパウダーの主原料であり、香りがかぐと「カレーのいいにおい」がするとされるスパイス。スパイスを使って作るカレーには欠かせません。また、肉料理によく合い、いわゆる「エスニック料理」で活躍するほか、ソーセージやミートローフなどにも使用されます。

クミン使用メニュー

スパイスで作るキーマカレー

ハウス食品グループより
株主のみなさまへ

ハウスの こころ

2019年3月期

2018年4月1日→2019年3月31日

CONTENTS

P1-2

ハウス食品グループ活動カレンダー

P3-4

業績・財務ハイライト

P5-6

～日本の家庭から世界の家庭の幸せに役立つ～

海外事業のご紹介

P7

株主のみなさまへのお知らせ

P8

コーポレートデータ

裏表紙

株主さま施設見学会を開催いたします。

食でつなぐ、人と笑顔を。



2019年3月31日現在、当社株式を2年以上継続して100株以上ご所有^(※)の株主さまに「株主さま施設見学会開催のご案内」を同封しております。

(※)株主名簿基準日(9月30日および3月31日)の株主名簿に100株以上の保有記録が同一株主番号で5回以上連続している場合をいいます。

ハウス食品グループ活動カレンダー

第六次中期計画では **お客さまに対して** **社員とその家族に対して** **社会に対して** の『3つの責任』の全てにおいて“**「食で健康」クオリティ企業への**ここでは、ハウス食品グループの『3つの責任』における活動の一部をご案内いたします。

「ワークスタイル5つの変革」をスタート

ダイバーシティの実現に向けて、多様な人材が活躍できる働きがいのある企業をめざす「働き方変革」の取組「ワークスタイル5つの変革」をスタートいたしました。

目的

- 計画した時間内で、より主体的に、より柔軟に働くことで生産性を高め、価値の創出につなげる。
- 変革を通じて自分を磨き、豊かな生活を実現する。

5つの変革

- ①月間計画勤務(フレックスタイム)の拡大 ~1ヵ月間のなかで計画的に就業時間を調整~
- ②テレワークの導入 ~働く場所を柔軟に~
- ③客観的労働時間管理の導入 ~より正確に、客観的に就業時間を記録・管理~
- ④営業みなし労働時間制の廃止 ~みなし労働をやめ、外勤時の労働時間を把握~
- ⑤所定労働時間の短縮 ~1日の働く時間を15分短縮~(8時間→7時間45分)



カレーパン専門店「ハウス カレーパンノヒ」オープン

食の外部化が進むなか、中食ビジネスなどにおけるお客さまとの新たな接点を創出するために、“カレーライスのようなカレーパン”をコンセプトとしたカレーパン専門店「ハウス カレーパンノヒ」を、阪急百貨店うめだ本店に出店いたしました。

具もカレーもぎっしり詰まった、プレミアムな味わいのカレーパンを提供しております。



2018年 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

ビッグデータを活用した食習慣による健康増進効果の研究をスタート

健康長寿社会の実現に向け、当社と国立大学法人弘前大学は、健康寿命延伸につながる食習慣を明らかにする共同研究講座「食と健康科学講座」を開設いたしました。本講座では、弘前大学COI^(※)の一環として、健康ビッグデータを活用し、食生活とさまざまな健康指標との関連性を解明する研究を共同で進めております。

特に近年の高齢化社会において問題となっている認知症をはじめとする疾患等の社会課題に対して、科学的根拠をもとにした食スタイルを提案し、貢献してまいります。



(※)弘前大学COI:文部科学省が進める、革新的イノベーション創出プログラム「COI STREAM」の1拠点として、健康ビッグデータを解析することにより、認知症・生活習慣病などの早期発見を可能にし、予防方法の創出と検証を行い、その成果を社会実装(問題解決のため応用展開)することをめざしております。

中国カレー事業 第3生産拠点稼働開始

「カレーライスを人民食に」をスローガンに掲げる中国カレー事業の基盤強化に向け、家庭用ルウカレー「百夢多(バーモント)カレー」の生産ラインを、浙江ハウス食品社で新たに稼働いたしました。

第3の生産拠点であり、巨大なマーケットである華東、華南、華西エリアへの供給基地としての役割を担っております。



PICK UP P7-8の特集で「中国カレー事業」をご紹介します。

健康経営優良法人2019(大規模法人部門)に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が選出する、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組などをもとに、特に優良な健康経営を実践して

株主のみなさまへ

日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。2019年3月期末の業況につきまして、ご報告申し上げます。

第六次中期計画の初年度にあたる当期は、事業面だけでなく、企業市民として果たすべき3つの責任(「お客さまに対して」「社員とその家族に対して」「社会に対して」)の全てにおいて、“「食で健康」クオリティ企業への変革”に向けた取組を進めてまいりました。当期の業績は3~4ページに詳細をご報告しておりますが、海外食品事業が進出各エリアで事業規模を拡大し、収益基盤も強化した他、香辛・調味加工食品事業、健康食品事業ではマーケティングコストの効率的運用に努め増益を確保した結果、連結売上高は前期比1.6%の増収、連結営業利益は前期比7.8%の増益となり、おかげさまで営業利益は2期連続で最高益を更新することができました。

2019年3月期の期末配当は1株につき22円とし、中間配当とあわせ当期の年間配当は、前期より6円増配の1株につき44円といたしました。これに加え、当期は200万株の自己株式取得を実施いたしました。株主さまへの利益還元は経営の重要課題の一つであり、今後も業績動向を勘案しながら、積極的な還元策を検討してまいります。なお、2020年3月期の年間配当は、2円増配の1株につき46円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長

浦上 博史



変革”に向けた取組を推進しております。

製品パッケージのFSC®認証紙(※)への切り替え完了

循環型モデルの構築に向け、生産地の環境・人権、経済等に配慮した原材料調達をめざす「持続可能な調達」の取組の1つとして、FSC®認証紙の使用を進めております。

ハウス食品(株)では、一部を除く製品パッケージの、FSC®認証紙への切り替えが完了し、2019年春に発売した新製品から認証マークの表示を開始いたしました。

当社グループの他製品にも採用を拡大しており、持続可能な“紙原料”の調達に取り組んでまいります。

(※)FSC®認証紙:FSC(森林管理協議会)は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする、独立した非営利団体です。適正に管理された森林を認証し、認証された森林の林産物からできた製品はFSC®認証マークが表示できます。



2019年 1月

2月

3月

4月

いる企業「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)」に認定されました。

今後も一層、健康増進に対する取組を強化してまいります。



国内食品メーカー5社による全国規模の物流会社を発足

物流業界の労働力不足や物流従事者の労働環境改善が喫緊の課題となるなか、持続可能な食品物流と全国規模での協働による生産性向上をめざし、味の素(株)、カゴメ(株)、日清オイリオグループ(株)、日清フーズ(株)、ハウス食品グループ本社(株)の食品メーカー5社は、物流事業を統合し、2019年4月1日付で全国規模の物流会社であるF-LINE(株)を発足いたしました。

「競争は商品で、物流は共同で」の考え方のもと、持続可能な物流環境の構築に取り組んでまいります。



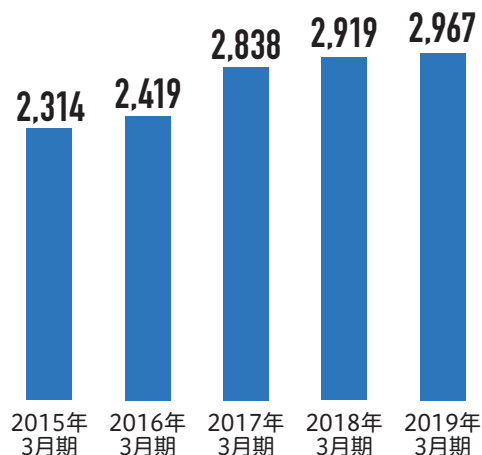
業績・財務ハイライト

詳しい財務情報はこちら

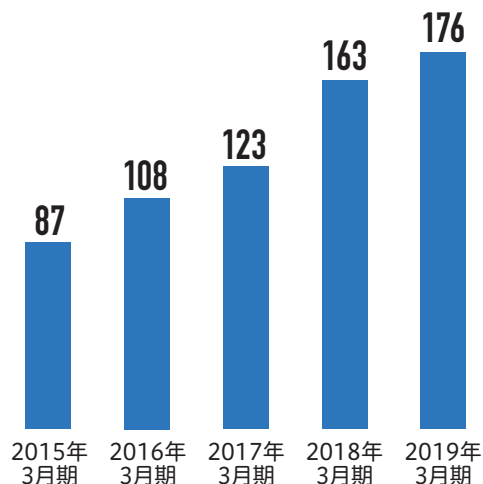
ハウス食品グループ IR

検索

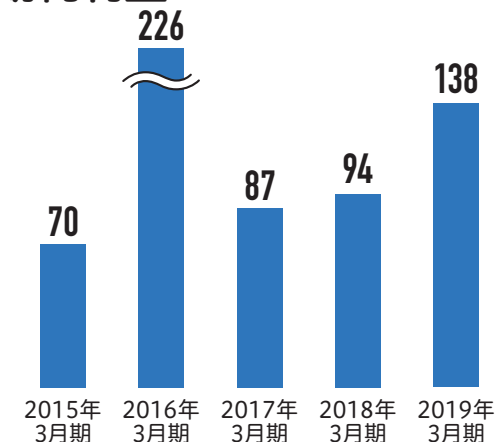
売上高 (億円)



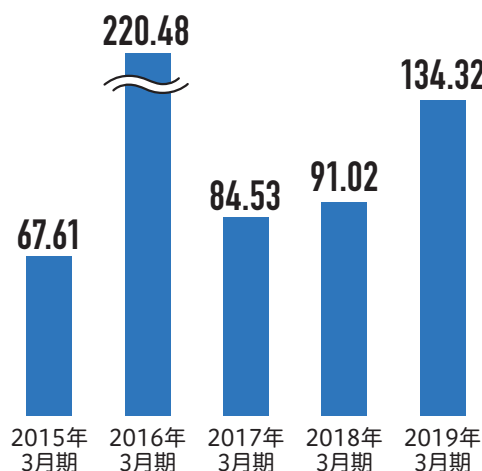
営業利益 (億円)



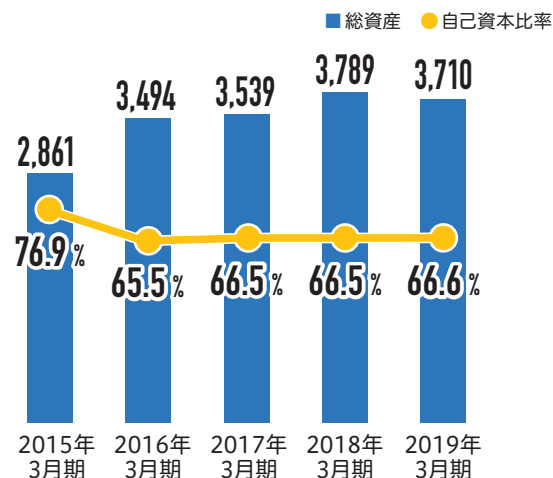
親会社株主に帰属する 当期純利益 (億円)



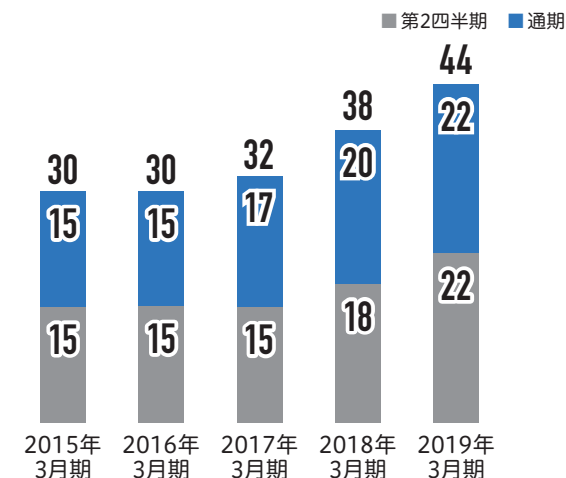
1株当たり当期純利益 (円)



総資産 (億円) / 自己資本比率 (%)



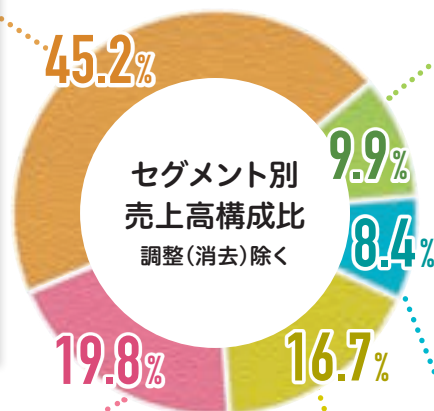
1株当たり配当金 (円)



セグメント別のご報告

香辛・調味加工食品事業

売上高 **1,412億円**
 前期比 100.9%
 営業利益 **126.7億円**
 前期比 104.9%



健康食品事業

売上高 **309億円**
 前期比 97.8%
 営業利益 **14.2億円**
 前期比 156.6%

その他食品関連事業

売上高 **619億円**
 前期比 101.4%
 営業利益 **20.5億円**
 前期比 109.6%

外食事業

売上高 **521億円**
 前期比 100.2%
 営業利益 **▲5.6億円**
(前期は営業利益▲4.1億円)

海外食品事業

売上高 **263億円**
 前期比 115.1%
 営業利益 **35.8億円**
 前期比 125.9%

香辛・調味加工食品事業

- ハウス食品(株)のカレー製品群は、「食の外部化」の影響もあり、ルー製品は前年を下回るも、レトルト製品や業務用製品が伸長。新製品効果もありデザートやラーメンが前年を上回る一方、ルーシチューは冬場の天候要因等により軟調に推移。
- (株)ギャバンは底堅く推移し、当事業セグメントの増益に寄与。

健康食品事業

- 主カブランド「ウコンの力」が苦戦するなか、マーケティングコストの効率的運用に努め増益を確保。期末には「クルクミン&ビスケロン」と「ネルノダ」の、2つの機能性表示食品の販売を開始。
- グループ独自技術による乳酸菌の本格的な事業展開を開始し、機能訴求および製品認知の向上に努める。

海外食品事業

- 米国豆腐事業は、アジア系市場の堅調な推移、米系市場や業務用製品の伸長により増収。利益面では労務費や物流費の高騰、生産能力の逼迫による影響を受けるも、増収効果や価格改定効果が寄与し増益を確保。
- 中国カレー事業は、家庭用製品を中心とした重点都市の深掘り、業務用製品の拡大に取り組み増収増益。9月には浙江工場の稼働を開始し、上海・大連・浙江の3工場体制を構築。
- タイ機能性飲料事業は、「C-vitt」の生産能力増強等、旺盛な需要への対応を進めた結果、マーケットへの配荷が進み増収増益。

外食事業

- (株)吉番屋は、人件費や業務用米を中心とする食材価格の上昇、修繕費等の製造コストの増加から減益。また、セグメント損益としては、(株)吉番屋のグループ化に伴うのれんや無形資産の償却負担から営業損失。
- ベトナム、イギリスに新規出店を果たし、両国とも順調にスタート。

その他食品関連事業

- ハウス物流サービス(株)は、「F-LINE」の全国展開を見据え、事業最適化に取り組み、減収ながらも増益を確保。
- (株)デリカシェフは、労務費の増加傾向のなか、開発力強化と生産性改善に注力し、増収増益。
- (株)ヴォークス・トレーディングは、基幹事業の収益力強化と高品質原料のソリューション提案に取り組み、増収増益。

特集 FEATURE

～日本の家庭から世界の家庭の幸せに役立つ～ 海外事業のご紹介

ハウス食品グループは、1981年に初の海外拠点として米国に駐在所を開設し、現在では、米国をはじめ中国やアセアン諸国を中心に事業を展開しております。

また、海外事業は、国や地域に関わらず、グループ理念「食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします」の実現に向け、～日本の家庭から世界の家庭の幸せに役立つ～事業展開の拡大に取り組んでおります。



～カレーライスを人民食に～ 中国カレー事業

中国では、現地のお客さまの味覚や嗜好に合わせてスパイスを配合したルウカレー製品やレトルト製品などを製造・販売しております。また、日本式カレーのメニュー、またそのおいしさに関心を持っていただけるように、料理教室や販売プロモーションなど多様な活動を行っております。

主なグループ会社

会社名	ハウス食品(中国)投資社
本社事務所	中国 上海市
事業内容	香辛調味食品の販売、当社グループ製品の輸入販売および中国事業の統括
生産工場	上海工場(上海ハウス食品社) 大連工場(大連ハウス食品社) 浙江工場(浙江ハウス食品社)



新工場へ最新鋭設備を導入

2018年9月、浙江ハウス食品社の新工場が稼働いたしました。

「利益を生み出す工場」をコンセプトに、ハウス食品グループの技術の粋を集め、省人(自動化)・高速化を追求したラインを導入しております。中国生産拠点最大規模となる生産能力を持ち、小箱で1分当たり264個、大箱で180個の製品を生産可能です。

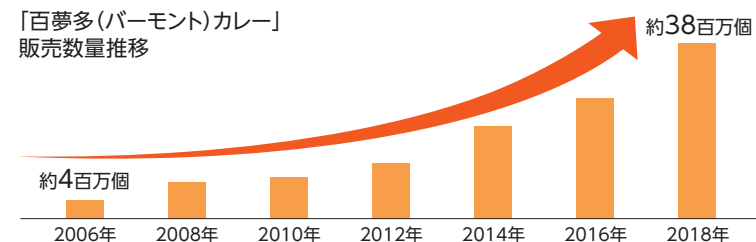


広がり続ける「百夢多(バーモント)カレー」

中国の家庭用ルウカレー「百夢多(バーモント)カレー」が発売されたのは2005年。2018年12月末時点の累計販売数量は約2億13百万個と、多くの中国のお客さまにご愛顧いただいております。

これからも広大なマーケットを切り拓き、中国のお客さまにハウスのカレーをお届けしてまいります。

「百夢多(バーモント)カレー」
販売数量推移



～新しいアイデアで健康をサポート～ タイ機能性飲料事業

タイでは、現地パートナーのオソサファ社と共にハウスウェルネスフーズ(株)が生産している「C1000」の風味などを東南アジアのお客さまの味覚や嗜好に仕立てた製品「C-vitt」の販売を通じて、健康をサポートしております。ビタミンCをおいしく、手軽に摂れる飲料である「C-vitt」は、多様化する飲用シーンやお客さま層のもと、着実に市場を拡大しております。

主なグループ会社

会社名	ハウスオソサファフーズ社
本社事務所	タイ バンコク
事業内容	加工食品および飲料の製造・販売

North America

～豆腐・大豆の良さを全米に～ 米国豆腐事業

米国ではさまざまな販売プロモーションを通じてヘルシーフードである“TOFU”を、全土に展開しております。1983年に開始した豆腐事業は、現在では北米トップクラスのシェアを占めるとともに、米国のお客さまの健康志向の高まりを受け、さらに事業規模を拡大しております。

主なグループ会社

会社名	ハウスフーズアメリカ社
本社事務所	米国 カリフォルニア州
事業内容	大豆加工食品の製造・販売、カレーレストランの経営およびハウス製品の輸入販売



米系マーケットで受け入れられる“TOFU”

米国豆腐事業は、アジア系マーケットのみならず米系マーケットにおいても、幅広いメニューや調理法とともに、着実に事業規模を拡大しております。

ビーガン^(※)やベジタリアンのお客さま、グルテンフリーを求められるお客さま、またデザートに使用されるお客さまなど多様なニーズにお応えしております。

(※)ビーガン:動物の肉と卵・乳製品を食わず、また動物製品を身につけない方。



豆腐使用メニュー:豆腐とマッシュルームのサンドイッチ

ロスアンゼルス工場を拡張

アメリカ最大規模の豆腐生産を誇るハウスフーズアメリカ社は、家庭用豆腐市場の伸長を受け、豆腐生産供給体制の整備と大豆新事業創出をめざし、ロスアンゼルス工場の拡張に取り組んでおります。2020年の拡張後には、生産能力は年間約0.9億丁から約1.2億丁に拡大される見通しです。



ハウスフーズアメリカ社外観

「C-vitt」生産体制増強

2012年より販売している「C-vitt」は、現在では年間販売数量約1.4億本まで伸長いたしました。よりお客さまの身近なブランドをめざして、オソサファ社において2018年6月には生産体制を強化し、年間約2億本もの安定供給が可能な体制にいたしました。これからもタイにおける機能性飲料市場の普及拡大を進め、「C-vitt」の販売に注力してまいります。



ハウス食品グループは、米国豆腐事業・中国カレー事業・タイ機能性飲料事業のほか、インドネシアでのハラール認証カレー事業や外食事業など、数多くの国・地域で事業を展開しております。

海外の市場が成長を続けるなか、海外事業がハウス食品グループの成長を牽引できるように、事業基盤の強化と事業領域の拡大に挑戦してまいります。

目標

2023年度にめざす
ハウス食品グループの海外事業比率

売上高

20%

営業利益

30%

株主のみなさまへのお知らせ

株主優待のご案内

6月・12月の年2回、半年以上継続して単元株（100株）以上の株式を保有の株主さまを対象に、当社グループの製品詰合せを「株主優待」として贈呈しております。

100株～200株未満
保有

1,000円相当の詰合せ



200株～1,000株未満
保有

2,000円相当の詰合せ



1,000株以上
保有

3,000円相当の詰合せ



写真は、2019年6月上旬に贈呈した株主優待製品です。

ホームページやSNSで最新情報をお届けしています

ニュースリリースのご案内

ニュースリリース
掲載通知の
メールサービスに
ご登録いただけ
ます。



ニュースリリース URL <https://housefoods-group.com/newsrelease/index.html>

ハウス食品グループLINE 公式アカウントのご案内

新製品・CM・レシピ情報をはじめ、LINE限定キャンペーンなどおいしく楽しい情報をお届けします。ぜひお友だちになってくださいね。



LINE QRコード

第73期 定時株主総会のご報告

2019年6月25日にリーガロイヤルホテル（大阪）で開催された当社第73期定時株主総会におきまして、次のとおり報告・決議されました。

報告事項

第73期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容およびその監査結果を報告いたしました。

第73期（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）計算書類報告の件

本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、当期の期末配当金は、1株につき22円と決定いたしました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決され、買取防衛策に関する規定を削除いたしました。

第3号議案 取締役10名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、浦上 博史、松本 恵司、広浦 康勝、工東 正彦、藤井 豊明、小池 章、大澤 善行、宮奥 美行、山本 邦克、西藤 久三の10氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第4号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、蒲野 宏之氏が選任され、就任いたしました。

コーポレートデータ

会社概要 (2019年3月31日現在)

創業年月日 1913年11月11日
設立年月日 1947年6月7日
資本金 9,948,323,523円
事業内容 グループ戦略立案、事業会社(国内・海外)への経営サポートならびに国際事業統括
従業員数 288名(連結:6,066名)
所在地
 大阪本社 〒577-8520
 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
 東京本社 〒102-8560
 東京都千代田区紀尾井町6番3号

役員 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長 浦上 博史
代表取締役専務 松本 恵司
専務取締役 広浦 康勝
(ハウスウェルネスフーズ株式会社 代表取締役社長兼務)
専務取締役 工東 正彦
(ハウス食品株式会社 代表取締役社長兼務)
取締役 藤井 豊明
取締役 小池 章
取締役 大澤 善行
取締役 宮奥 美行
取締役(社外) 山本 邦克
取締役(社外) 西藤 久三
監査役 加藤 浩
監査役 田口 昌男
監査役(社外) 蒲野 宏之
監査役(社外) 藤井 順輔
監査役(社外) 岩本 保

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
中間配当制度 あり
定時株主総会 毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
 〒168-0063
郵便物送付先およびお問い合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-782-031
公告の方法 電子公告により、当社ホームページ
<https://housefoods-group.com> に掲載して行います。
 ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所 東京
証券コード 2810

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行済株式総数 100,750,620株
発行可能株式総数 391,500,000株
株主総数 58,248名
1単元の株式数 100株

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

お手続き内容	口座の種類	
	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式*
住所変更、単元未満株式買取請求、配当金の受領方法・振込先のご変更などの各種手続	口座を開設されている証券会社	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031
郵送物の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031	
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問い合わせ		

※株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

株式に関するその他のお問い合わせ先

ハウス食品グループ本社株式会社 総務部 電話06-6788-1214
 受付時間 平日9時~17時
 (夏期休暇・年末年始休暇および創業記念日(11月11日)を除く)

株式に関する「マイナンバー」制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。2015年12月以前より証券会社等とお取引されている株主さまは、2019年1月以降の最初に売却代金や配当金の支払いを受ける時までにマイナンバーのお届出をお願いいたします。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- * 配当金に関する支払調書
- * 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主さま
お取引の証券会社までお問い合わせください。

- 証券会社とお取引がない株主さま
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行部
 ☎ 0120-782-031

株主さま施設見学会を開催いたします。

ハウス食品グループは、「食で健康」クオリティ企業への変革をめざし、「イノベーションを創出する研究所へ」をテーマにR&D機能の強化に取り組んでおり、当社グループの研究開発拠点である千葉研究センターをリノベーションしております。

リノベーションされた研究開発拠点をご見学いただくことで、当社グループの企業理念や事業内容のご理解をより一層深めていただくために、2019年3月31日現在、当社株式を2年以上継続して100株以上ご所有(*)の株主さまを対象に、株主さま向けの施設見学会を開催いたします。

2020年1月完成予定

千葉研究センターリノベーションについて

共創環境や自由な発想のモノづくりに適した環境を整備しております。

コミュニケーションが
生まれる環境作り

自由な発想ができる
空間作り

社外との接点の整備

リノベーションイメージ



(*)株主名簿基準日(9月30日および3月31日)の株主名簿に100株以上の保有記録が同一株主番号で5回以上連続している場合をいいます。

施設見学会概要

応募資格	2019年3月31日現在、 当社株式を2年以上継続して 100株以上ご所有(*)の 株主さまを対象 (応募資格を有する株主さまに、 お申込み方法を記載した 「株主さま施設見学会開催の ご案内」を同封しております)
開催予定日	2020年2月29日(土)
開催場所	ハウス食品グループ 千葉研究センター (千葉県四街道市)
募集人数	130名 (株主さまご本人に限ります)

ハウス食品グループ本社株式会社

[証券コード: 2810]

〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号

<https://housefoods-group.com>

UD FONT

